



# はだの 議会だより

第223号 平成29年(2017年)2月12日(日)  
発行: 秦野市議会 編集: 議会報編集委員会  
〒257-8501 神奈川県秦野市桜町一丁目3番2号 ☎0463-82-9652  
秦野市議会

## 主な内容

◆議案審議	1・7面
◆一般質問	2・3・6面
◆議会の動向	4面
◆議会報告会	4・5面
◆陳情・意見書	7面
◆審議結果一覧表	8面
◆3月定例会日程	8面



塔ノ岳山頂からの富士山 (撮影者・和田 恭さん)

## 12月定例会

# 公共下水道使用料の額の引き上げへ

平成28年12月定例会は、11月24日から12月14日までの21日間の会期で開催されました。  
この定例会では、条例の一部改正および補正予算など市長提出議案等18件(うち、報告2件)のほか、議提議案3件などを審議しました。

## 議案審議

(議案審議は7面にも掲載)

### 経営基盤強化のため、平均5%を上限に公共下水道使用料を引き上げ

議案第79号 秦野市公共下水道使用料徴収条例の一部を改正することについて

公共下水道事業が将来にわたって良質なサービスを安定的に提供できるように、経営基盤の強化を図ることを目的として、公共下水道使用料を引き上げるため、改正するもの。

なお、この条例の施行日は、平成29年4月1日とするもの。

#### ▼付託委員会

環境都市常任委員会

▼委員会での主な質疑・要望など  
問 公共下水道使用料を引き上げる目的にある、良質なサービスの提供とはどのようなものか。

答 公共下水道事業は、多大な投資を行った下水道施設の更新や維持管理を行っていくことが必要で

### 医療費助成の所得制限対象を小学1年生以上に引き上げ

議案第76号 秦野市小児等医療費の助成に関する条例の一部を改正することについて

医療費助成に係る所得制限の対象について、満1歳以上を小学1年生以上に引き上げるため、改正するもの。

なお、この条例の施行日は、平成29年4月1日とするもの。

#### ▼付託委員会

文教福祉常任委員会

▼委員会での主な質疑・要望  
問 平成28年10月から、通院助成の対象を、小学4年生から6年生に拡大したが、今回の改正内容はどのようなか。

答 横浜市や川崎市においては、一部負担金を導入する方式が検討されている。そのため、義務教育終了までの対象年齢拡大について

れば、一般家庭での最も使用水量の多い、月20立方メートルと仮定した場合、財政計画期間全体での影響は、改定率で約0.4%であり、料金単価への大きな影響は生じないと考えている。

意見 平成29年1月末までに賦課漏れの調査が終わるのであれば、調査結果を反映した正確な数値を市民に示し、納得が得られた上で、公共下水道使用料の値上げをすべきである。

要望 賦課漏れの確定金額を反映させた財政推計や財政計画の見直しを確実に行うとともに、議会に対して調査の途中経過を丁寧に報告してほしい。

▼本会議での反対討論  
賦課漏れの経過が遅れて議会に報告されたことや生活困窮者の実態を全く顧みない値上げであることなどから、反対する。

▼本会議での賛成討論  
公共下水道事業の経営基盤の強化を目的としており、一定の理解はするが、今後、市民への信頼回復に一層努めてほしい。

▼採決の結果  
委員会 原案可決(賛成多数)  
本会議 原案可決(賛成多数)

は、一部負担金の導入も含めて、検討していく。

要望 既に近隣の自治体では義務教育終了まで助成対象が拡大されている。子育て支援の充実をうたっている本市も、一部負担金の導入検討を含め、義務教育終了までの対象拡大を早急に進めてほしい。

▼本会議での反対討論  
生活困窮者ではなく、生活に余裕がある高所得者のための改正であることから、反対する。

▼本会議での賛成討論  
中学3年生までの助成対象拡大を望むが、新たに419人の小学生が対象となるため、賛成する。

▼採決の結果  
委員会 原案可決(賛成全員)  
本会議 原案可決(賛成多数)

# 一般質問



一般質問は、12月6日、7日および8日の3日間、17人の議員によって行われました。質問は、福祉施策や環境施策に関するものをはじめ、市政全般にわたり、活発な議論が展開されました。  
(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載) ※一般質問は、3面・6面にも掲載



## 秦野名水のロゴマークを活用したPRを

自民・新政 高橋 昭雄  
一 更生保護活動への支援等について

問 犯罪や非行を行った保護観察対象者にとって、就労先や住居を確保することは困難である。一部の自治体では、市と保護司会が協定を結び、保護観察対象者を雇用する就労支援事業を実施しているが、本市の考えはどのようなか。

答 保護観察対象者に働く機会を提供することは社会的にも重要であるが、自治体が独自に行うことは難しく、保護司会なども連携し、研究していきたい。

要望 更生保護サポートセンター運営をするための、国の補助金が十分ではなく、本来の更生保護活動が制約されているため、今後の活動への支援充実を望む。

二 名水が育む農産物の認定等について  
問 はだのブランド農産物の取り組みはどのようなか。  
答 秦野産の安全・安心な優良農産物を「丹沢はだの名水そだち」として認証し、売り出している。

問 ふるさと納税返礼品の中に地元農産物が設定されているが、その内訳と状況はどのようなか。  
答 豚肉やブルーベリーなど43品



中学校完全給食の早期実現を (写真は本町中学校)



## 計画的に財源を確保し 中学校完全給食を早期に実施せよ

日本共産党 佐藤 文昭

一 福祉施策について  
①生活困窮者自立支援事業等について

問 本市は社会福祉協議会に相談窓口「きやつち」を設け、生活困窮者の支援を委託している。貧困が拡大し、長引く不況で仕事が無く困窮している市民の状況を、どのように把握し、救済するのかが、全庁的に取り組むべき課題であることから、生活困窮者を把握するだけでなく、脱却できるように庁内連絡会を設置し、日ごろから密接な連携を図っていく。

二 子どものインフルエンザ予防接種補助制度の創設について  
問 インフルエンザは平成6年予防接種法改正で対象外となったが、継続実施の市もある。流行すると学級閉鎖が多発し学力低下が危惧される。本市の子どもの罹患数は444人、小・中学生対象でも200万円程度で実施可能だがどうか。  
答 副反応への懸念などの課題があり、調査・研究していきたい。

二 教育施策について  
①中学校完全給食の実施について  
問 神奈川県の実施率は24%と全



## 報徳思想の真髄は実践にあり

創秦クラブ 加藤 剛

一 報徳思想について  
問 平成25年に本市において全国報徳サミットを開催して以降、報徳思想をどのように教育の現場に取り入れているか。  
答 学校教育、社会教育の一環として冊子などの作成や講演会を開催し、報徳思想の周知に努めている。職員教育としては、幹部職員

二 地域資源を生かした観光施策について  
問 大山という貴重な地域資源を絡めた観光施策はどのようなか。  
答 伊勢原市、厚木市のほか、交通事業者などと連携を取って大山地域への誘客を図っている。



秦野名水ロゴマークの活用を



## 市民との協働で 街にイノベーションを

民政会 八尋 伸二

一 道路の安全対策について  
問 道路陥没などを早期発見する上で、本市が行っている方法とその割合はどのようなか。  
答 また、相模原市や座間市では、スマートフォン用アプリケーションによる、道路通報システムを導入しているが、本市で導入する考えはないのか。

二 市民と合意形成をする手法等について  
問 山口県周南市や東京都小金井市は、公共施設再配置の理解を深めるため、市民参加によるワークショップなどを実施している。本市でも活用する考えはないのか。  
答 これまで、自由参加のワークショップを実施した経緯はない。公共施設再配置計画をはじめ、さまざまな計画を進める際に、機会があれば活用を検討したい。

二 市民と合意形成をする手法等について  
問 山口県周南市や東京都小金井市は、公共施設再配置の理解を深めるため、市民参加によるワークショップなどを実施している。本市でも活用する考えはないのか。  
答 これまで、自由参加のワークショップを実施した経緯はない。公共施設再配置計画をはじめ、さまざまな計画を進める際に、機会があれば活用を検討したい。



報徳思想を教育現場に取り入れよ (写真は二宮金次郎像)

果たした。本市も近代水道施設を題材に認定を目指してどうか。  
答 本市には、要件を満たす重要な文化財がなく、申請は厳しい。

意見 私が調査した結果、方法はある。担当部署は、不可能だと即座に結論付けをしていないか。必要な地域資源が無ければ作る、作れないければ他市の資源をも活用するくらいの食欲さを持つてほしい。

二 市民と合意形成をする手法等について  
問 山口県周南市や東京都小金井市は、公共施設再配置の理解を深めるため、市民参加によるワークショップなどを実施している。本市でも活用する考えはないのか。  
答 これまで、自由参加のワークショップを実施した経緯はない。公共施設再配置計画をはじめ、さまざまな計画を進める際に、機会があれば活用を検討したい。



## 耐震化が著しく遅れている 水道本管の整備計画を早期に達成せよ

日本共産党 露木 順三

一 渋沢丘陵霊園建設について  
問 土地売買契約書の所有権移転日に、1筆だけ売買が成立していないのは当時の土地権利者と契約を交わしていないためである。墓地等経営許可申請時に条例に基づき契約書を精査すべきであった。本市には精査を怠った重大な瑕疵があり、許可は無効だがどうか。  
答 民法第560条の規定により、契約者が権利者でないことで売買契約が無効になるものではない。

二 市長の政治責任問題について  
問 約6年間汚水管を雨水管に誤接続していたが、本市は完成検査を合格としていた。河川の水質は検査中だが、この問題に対する市長の政治責任はどのようなか。  
答 公共下水道工事の許可を行う管理者として、審査・検査に当たり、慎重さを欠き反省している。

意見 県道河原町交差点で耐震性のない水道本管が老朽化で漏水し、断水して修理したため濁水が発生し苦情が約200件あった。本市の耐震化率は28.6%、県平均は62.5%で著しく遅れており、早期に管路の耐震化をすべきである。

問 土地収用法を遵守せず、市民の税金が二重に支払われた問題で、職員が処分されたが、市長自身の責任など、処分はどのようなか。  
答 法令遵守に努め一層の注意を払い、業務に取り組んでいきたい。



市民と共有する道路通報システム導入を



早期に管路の耐震化を (写真は水道庁舎)

## 市議会ホームページをご覧ください!!

市議会ホームページでは、本会議の中継、議会のしくみ、議員の名簿、会議の結果、議会の日程など議会に関する各種情報を掲載しています。特に、定例会開会中は、会議の結果などをタイムリーに情報提供できるよう心掛けています。また、ホームページから会議録を検索・閲覧することができますので、ぜひご利用ください。(平成28年12月定例会の会議録は2月中旬からご覧いただけます。)





### 「当地映画『じんじん秦野編(仮題)』PRに最大限の予算措置を

無所属 吉村 慶一

一 映画『じんじん秦野編(仮題)』のPRについて

市長と観光協会の努力で、「じんじん秦野編(仮題)」が製作され、平成29年春に公開予定だが、ご当地映画は、10年に1回あるかどうかと聞いている。この映画で本市を全国に売り込むために29年度はできる限りの予算措置を取ったかどうか。

答 第1作の「じんじん」は、全国で500回以上の上映会が開催されている。「じんじん秦野編(仮題)」も、全国津々浦々で上映されるように、文科科学省の後援を得るなど、さまざまな取り組みをしていきたい。

問 第1作を上回る回数の上映会が開催されなければ、成功とは言えない。「じんじん秦野編(仮題)」のテーマは、一つは主役の大地康雄が演じる大道芸人であり、もう一つは準主役の青年が林業で再生することである。第1作が上



「じんじん秦野編(仮題)」の撮影風景

### 施設の木造化は時代の流れ 後世に喜ばれる木造建築の推進を

公明党 山下 博己

一 待機児童対策について

問 保育所の認可定員数と最大許容定員数の差は本市全体で417人と大きい。原因の一つに定員割れのリスクを避けるための影響が考えられるが、そのリスクを補助金で補填することで、適正な定員数の確保につながり、待機児童解消に効果があると思うがどうか。

答 定員割れのリスクも考えられるため、保育ニーズを見極め補助金の効果的な枠組みを検討したい。

二 秦野産材を活用した木造施設の普及促進について

問 建築技術や木材の質の向上で耐火の基準を満たせば大型木造建

築が可能となり、全国の施設で木造化が始まっている。本市でも施設建築に秦野産材活用を条件にすることや、補助金の活用でより効果が期待できると思うがどうか。



### ヘルプマークの早期導入を図れ

緑水クラブ 木村 眞澄

一 ヘルプマークの導入について

※内部障害など外見から分からない援助や配慮を必要とする人を支援する目的で作成されたヘルプマークを東京都が導入し、取り組みが拡大している。本市においても導入すべきと考えるがどうか。

答 県では導入に向けた補正予算を審議中である。本市としては、県の動向を踏まえながら、ヘルプマークの導入に際し、必要な人への配布や関係団体などへのきめ細やかな周知を図り、県とも連携し、実行性のある普及に努めたい。

二 おおね公園の再整備について

問 多目的広場に人工芝のサッカー場を整備することだが、競技人口が増えているフットサルができるような整備もしてはどうか。

答 整備の中で、利用できるような他競技との調整を図り対応したい。

問 管理体制上、再整備や利用者の声への対応をするため、責任ある正規職員の配置が必要と考えるがどうか。

答 現場の状況を十分に確認した上で、前向きに、かつ適切に対応していきたい。

三 高齢者の交通事故防止について

問 高齢ドライバーの交通安全対策として、国立長寿医療研究センターが作成した「運転行動チェックリスト表」を活用してはどうか。

答 作成元に活用承諾を得たため、交通安全教室などの場面で活用していきたい。

### 若者が市内に就職し 活躍できる環境づくりに努めよ

創奏クラブ 谷 和雄

一 若者が活躍できる環境づくりについて

問 かなテクカレッジ西部では多くの生徒が学んでいるが、市内への就職状況はどうか。また、起業する人への支援はどうか。

答 市内への就職率は、就職者全体の9・9%である。また、商工会議所や金融機関と連携した相談窓口の設置など、創業5年未満お

用が可能か検討したい。

要望 施設の木造化は時代の流れであり、後世に喜ばれる木造施設の建築をぜひ進めてほしい。



後世に喜ばれる木造施設の建築を(写真はくずはの家)



### 西中学校多機能型体育館の早期完成に努めよ

自民・新政 小菅 基司

一 西中学校体育館等の複合化について

問 東京オリンピックなどの建設需要の増大を理由に、西中学校体育館などの施設整備が再度先送りされる心配があるがどうか。

答 東京オリンピックなどの関連事業により、建設需要が若干伸びると考えるが、※建築費指数が下降傾向にあり、建設需要も落ち着く時期となることから、影響は受けないと考えている。平成32年度までに1日も早い完成を目指す。

二 学力の向上について

問 全国学力・学習状況調査の結果を、分析・活用検討委員会で分析し、学習指導の充実につなげる

結果はどうか。

答 小学校算数の知識に関する問題をはじめ、各領域とも課題は多いと分析し、さらなる工夫改善が必要であると見ている。

要望 調査結果を広報はだのに掲載し、本市の学力の程度を市民に広く周知してほしい。

三 街路樹等の管理について

問 カルチャーパーク中央ことも公園前の桜1本が、腐朽菌が原因で倒木し、はだの桜みちを含む326本の桜を緊急で樹木診断した結果と対応はどうか。

答 腐朽菌などの影響で緊急措置が必要と診断された桜は34本となつた。数年後には倒木する危険性があるため、順次伐採と植え替えを行い、安全確保に努めていく。



一日も早い完成を(写真は西中学校体育館)

### 源実朝公御首塚に対する整備強化を



緑水クラブ 横溝 泰世

一 寡婦(夫)みなし控除について

問 所得税法や地方税法などでは、寡婦(夫)控除の対象が婚姻歴のあるひとり親に限られているため、未婚のひとり親は、婚姻歴のあるひとり親と比べ、課税対象所得や課税額などから算出される利用料金に差が生じている。既に県および県内13市では、寡婦(夫)控除のみなし適用を実施しているが、本市の見解はどうか。

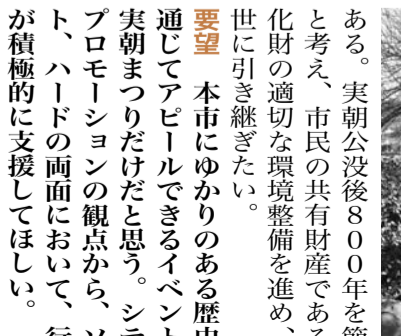
答 全国一律の制度とすべきと考



多くの生徒が学ぶ「かなテクカレッジ西部」



人口芝のサッカー場が整備される多目的の広場



源実朝公御首塚の整備強化を

え、国に重ねて要望しているが実現していない状況である。本市でも差別のない社会の実現に向けて、実施の在り方を検討したい。

二 第30回実朝まつりに向けて

問 実朝まつりは、平成29年で30回目の開催となるが、式典会場となる源実朝公御首塚境内は、記念碑が散在している。今後の整備はどうか。

答 実朝まつり実行委員会から、石碑などの移設、樹木の伐採、竹垣の擬木への変更および金槐和歌が積極的に支援してほしい。

用語解説 ※建築費指数…ある時点基準として、該当年の建築費の変動を表す指数のこと。 ※内部障害…心臓機能障害でペースメーカーを胸部に埋めこんだり、膀胱・直腸機能障害で人工肛門・人工膀胱をつけているなど、体の内部に障害があること。

# 第5回議会報告会

～3会場で同時開催しました～



## 平成 27 年度決算の概要報告

平成 28 年 9 月定例会の予算決算特別委員会において審査し、本会議にて認定した 27 年度の一般会計決算、水道事業会計決算および 4 特別会計（国民健康保険事業、下水道事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業）決算の概要についてを第 1 部テーマとしてすべての会場で報告しました。

市民からは、不納欠損、未収金対策、ファミリーサポートセンター事業の概要などについて、質疑がありました。

会計区分	歳入	歳出
一般会計	495億2393万円	465億5714万円
水道事業会計	29億8201万円	28億7713万円
国民健康保険事業特別会計	211億7198万円	208億8827万円
下水道事業特別会計	65億 2268万円	56億3590万円
介護保険事業特別会計	105億4119万円	103億7670万円
後期高齢者医療事業特別会計	17億5643万円	16億5285万円
計	924億9822万円	879億8799万円

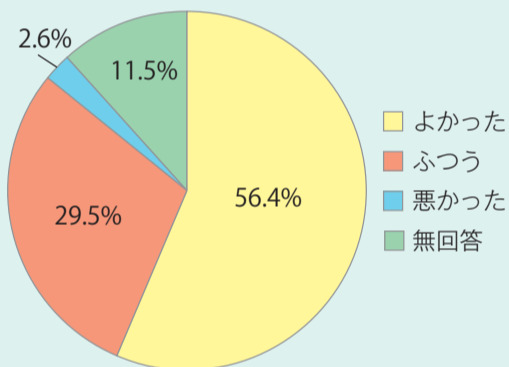
市民の皆さんに、議会の活動状況について知ってもらい、また、議会運営や議員活動に対する意見を聴くため、平成 28 年 11 月 20 日 (日) に第 5 回議会報告会を 3 会場同時に開催し、111 人の参加がありました。

当日は 2 部制で行い、第 1 部は 28 年第 3 回定例会で審議した 27 年度決算の概要を、第 2 部は地域別に設けたテーマを中心に報告しました。

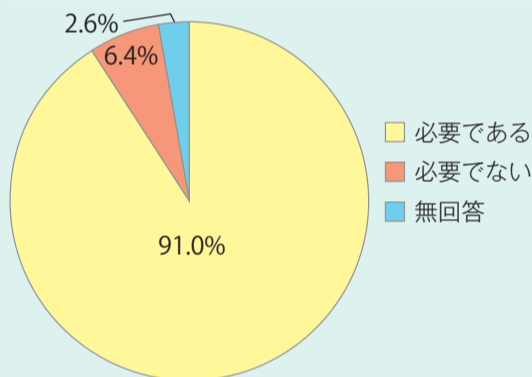
今号ではアンケート結果や各会場で交わされた質疑、意見の一部を紹介します。(質疑などの全容は、市議会ホームページをご覧ください。)

## アンケート結果一覧

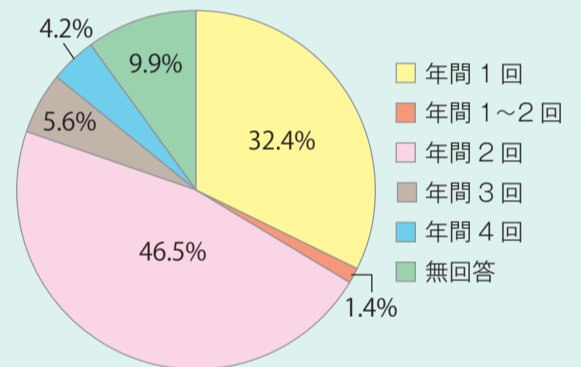
議会報告と地区別テーマの 2 部制としましたが、内容はいかがでしたか？



今後も継続して開催していく必要があると思いますか？



年に何回程度開催する必要がありますか？



## 議会の動向

### ○平成28年11月

- 17日(木)・議案発送
- 18日(金)・議会運営委員会
- 24日(木)・市議会第4回定例会開会  
・代表者会議
- 28日(月)・本会議(議案審議)【傍聴者数1人】  
・予算特別委員会(初委員会)  
・代表者会議
- 30日(水)・議会運営委員会  
・総務常任委員会【傍聴者数31人】  
・予算特別委員会(総務分科会)

### ○12月

- 1日(木)・文教福祉常任委員会【傍聴者数2人】  
・予算特別委員会(文教福祉分科会)
- 2日(金)・環境都市常任委員会【傍聴者数1人】  
・予算特別委員会(環境都市分科会)
- 6日(火)・本会議(一般質問)【傍聴者数32人】
- 7日(水)・本会議(一般質問)【傍聴者数8人】  
・議会運営委員会
- 8日(木)・本会議(一般質問)【傍聴者数13人】  
・代表者会議
- 14日(水)・議会運営委員会  
・予算特別委員会  
・市議会第4回定例会閉会  
・議会運営委員会  
・議会報編集委員会
- 20日(火)・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第4回定例会

### ○平成29年1月

- 16日(月)・代表者会議  
・議員連絡会  
・議員研修会

### ○2月

- 3日(金)・議会報編集委員会

## ～出前講座、いかがですか？～

議会って何をやっているところ？議員ってどんな仕事しているの？議会のことを聞いてみたいけど、市役所に行かないとダメかな？

このような市民の皆さんの疑問にお答えするために、議会事務局では、出前講座を行っています。学校の授業、自治会をはじめ各種団体の研修会、職場やサークルの勉強会を開催するときに、議会のことを学んでみませんか。

### 対象

市内在住・在勤・在学のグループ

### 対応可能時間

月曜日から金曜日(祝日、年末年始は除く)の午前9時から午後4時まで  
※本会議開会期間中など、お受けできない日時もあります。

### 会場

各グループで手配してください。

### 申込方法

申込用紙(市議会ホームページにあります)に必要事項を記入のうえ、議会事務局にEメール(gikai@city.hadano.kanagawa.jp)、ファクス(0463-84-2299)、郵送(〒257-8501 秦野市桜町1-3-2 秦野市議会事務局)で申し込みしてください。  
まずは、お気軽にお問い合わせください。(☎0463-82-9652)



県立秦野高校(平成28年1月29日)



明るい選挙推進大会(平成28年11月11日)

会場

北公民館

参加者 42人

●地域別テーマ●

新東名建設に係る進捗状況とサービスエリア周辺整備並びに国道246号バイパス整備について



出席議員：川口薫議長、相原学議員、八尋伸二議員、小菅基司議員、村上茂議員、風間正子議員、諸星光議員、和田厚行議員

○主な質疑

1 新東名高速道路の整備について

Q 秦野インターチェンジ(仮称)から国道246号までの区間の工事は、平成32年度に完成するのか。

A 国土交通省からは新東名高速道路が開通する32年度中に完成すると聞いている。

2 国道246号バイパスの事業化について

Q 国道246号バイパスの事業化の状況はどのようなか。

A 平成26年度に伊勢原西インターチェンジ(仮称)から秦野中井インターチェンジまでの区間が事業化され、現在、地質調査なども進められているが、秦野中井インターチェンジから秦野インターチェンジ(仮称)までの区間はまだ事業化がされていない。

3 水とみどりを守り育てていくことの宣言に関する決議について

Q 水とみどりを守っていくために、議会はどのようなチェックをするのか。

A 直接的に地下水の水質チェックなどは行っていないが、環境基準から外れると議会に報告がある。現状はそのような報告はないが、今後も注視していく。

そのほか、公共施設使用料の値上げ、政務活動費の適正な使途、工事車両などにおける交通安全上の配慮などについての質疑、意見がありました。

会場

東公民館

参加者 63人

●地域別テーマ●

土砂災害等の対策について



出席議員：川口薫議長、露木順三議員、佐藤文昭議員、加藤剛議員、山下博己議員、高橋文雄議員、横溝泰世議員、大野祐司議員

○主な質疑

1 鳥獣被害対策について

Q 鳥獣被害を防ぐために予算を確保しているのか。

A 本市は里山整備に力を入れており、鳥獣対策費用として、平成28年度は約950万円の予算を確保している。

2 ※土橋の改良工事の進捗状況について

Q 土橋である西沢橋と小金沢橋は崩れると洪水が起こるため、改良工事を要望しているが、現在の状況はどのようなか。

A 県議会議員とも協議し、随時、整備を進めているが、状況を確認した上で東地区自治会連合会長に報告する。

3 介護予防事業の予算について

Q 民生委員が介護予防のサロン活動をするための予算を要望するにはどのように行うのか。

A 介護保険法が改正されたことにより、平成28年12月定例会で条例改正案が提出される。今後に向けて色々な話ができると思われる。

そのほか、公共施設使用料の値上げ、金目川に架かる橋の強度調査、幼稚園のこども園化、議会報告会などについての質疑、意見がありました。

会場

広畑ふれあいプラザ

参加者 6人

●地域別テーマ●

地域の安全安心について



出席議員：川口薫議長、谷和雄議員、吉村慶一議員、木村眞澄議員、今井実議員、横山むらさき議員、古木勝久議員、高橋照雄議員、阿蘇佳一議員

○主な質疑

1 通学路の整備について

Q 鶴巻中学校周辺のクランク状になっている通学路の整備はどのようなか。

A 平成28年度に測量を実施し、設計をしている。29年度に車道4.5メートル、歩道2.2メートルを確保した緩やかなカーブになる予定である。

2 県道613号の歩道整備について

Q 下大槻地区における歩道整備の進捗状況はどのようなか。

A 県の予算の範囲内で歩道整備に向けた用地交渉を順番に進めている。

3 東光寺薬師堂付近の交差点の対策について

Q 東海大学方面に向かう下り坂は、スピードを出して通過する車などが多いため、一時停止を逆にする対策をしてはどうか。

A 交差点手前から危険を知らせるよう改良したが、依然として接触事故が多い。地元議員としてしっかりと取り組んでいく。

そのほか、坂道における急カーブでの安全対策、高齢者の買い物における問題、生活困窮時の対応、生徒数の減少に伴う学区や広域避難場所の見直しなどについての質疑、意見がありました。

# 一般質問

(一般質問は2面・3面にも掲載)



## 将来の若者のために 安心して子どもを産める医療体制を

自民・新政 風間 正子

### 一 八木病院の新築移転について

新築移転の延期理由は、建設費高騰などとのことだが、医療法人杏林会の取引金融機関との協議に参加する必要はなかったのか。

医療法人の財務状況は適宜確認しているが、市有地の賃貸借など契約締結前の段階で、協議することは適切ではないと考える。

新築移転には産婦人科開設が前提で、分娩業務には増床が必要である。医療法人と県の手続きへの、本市の協体制度はどのようか。

医療法人と県の事前協議前から、関係課と調整を行っている。

新築移転計画における本市の意思決定プロセスはどのようか。

政策会議への付議を通して行っている。事務レベルの協議は、市有地の取り扱いなど、関係課と打ち合わせをしながら進めた。

庁内に検討組織を設置するなど横断的な取り組みが必要と考え



安心して子どもが産める環境を

## 認知症施策の強化で 安心して暮らせる地域づくりを

公明党 横山 むらさき

### 一 認知症施策の強化について

新オレンジプランで、2025年に認知症高齢者が全国で約700万人と推計され、交通事故や徘徊による行方不明など、さまざまな混乱が予想される。本市での認知症の早期発見と対応、認知症サポーターの育成はどのようか。

認知症初期段階で適切な医療や介護サービス支援につなげるため、専門職で構成する初期集中支援チームの実施体制を整えた。また、平成29年度末までに1万人の

認知症サポーターの養成に努め、併せて質の高いキャラバン・メイとも育成することで、地域の見守り体制を強化していく。

対象にした安心カードの情報を行政が把握し、迷い高齢者SOSネットワーク事業を強化してほしい。



## 国1049兆円、県4兆円 市820億円の借金、これでいいのか

民政会 阿蘇 佳一

### 一 責任ある未来について

①秦野赤十字病院は、昭和大学の産婦人科医師、東海大学の小児科医師の引き揚げと聞くが、分娩再開のめどは、②八木病院の産婦人科の開設、新築移転の時期を延期と申し入れがあったが、計画断念ではないのか。市側のチェック体制の問題は、③市の貯金は31億円、借金820億円、未収金は37億円、平成29年度は約25億6000万円の財源不足、厳しい財政状況における対策は、どうか。

①横浜市立大学の医局に属する、次期院長・田中克明内科医師による内科強化にも期待し、関係機関がそれぞれ産婦人科医師確保に取り組み。②この段階で期待に応える結果とならず、お詫び申し上げる。新築移転に向けた、新病院の資金計画を確認していく。③人件費の削減、適正な欠損処理を含む未収金対策の強化、広告収入の確保などに取り組む。



借金820億円、今後の対策は(写真は市役所本庁舎)

### 二 安心して安全なまちづくりについて

①登校中の通学路で大変悲惨な事故が相次いでいるが、②横浜市のいじめ問題で、福島県から避難した子どもたちへの配慮不足は、教育現場や事務局の教育放棄と言われたが、本市の対応はどうか。

①学校、PTA、関係機関と連携をしっかりと取りながら、安全対策を進める。②個々の児童・生徒の気持ちに寄り添った対応を徹底し、危機管理意識を高めていく。



早期に入居募集の開始を(写真は市営薬師原団地)

認知症サポーターの養成に努め、併せて質の高いキャラバン・メイとも育成することで、地域の見守り体制を強化していく。

対象にした安心カードの情報を行政が把握し、迷い高齢者SOSネットワーク事業を強化してほしい。

③木質バイオマス活用はどうか。①鶴巻温泉駅施設の内装や秦野サービスエリア(仮称)の施設



## 市民の健康づくり なお一層の推進を

緑水クラブ 高橋 文雄

### 一 市民の健康づくりについて

本市では、以前から病気になるための体づくりに取り組んでいるが、①重点施策は、②検診では判明しない血糖値スパイク対策は、どのようか。

①壮年期死亡を減少させ、健康寿命延伸を図るため、健康はだの21に基づき、健康を支援するコミュニティの実現、食を通じた健康づくりの実現、運動習慣の確立、生活習慣病の改善、病気の予防などに努めている。②食後に血糖値が基準値を超えて上昇し、その後急激に下がる状態を血糖値スパイクというが、この状態を放置すると重度の糖尿病になる。検診の実施とバランスの良い食事、適度な運動が必要であるため、予防講座などを実施している。



## 災害に備え、無電柱化の推進を

自民・新政 相原 學

### 一 無電柱化について(その2)

緊急輸送道路を優先して、無電柱化を進めるとのことだが、現在の状況はどのようか。

市道6号線の本町小学校南門

## 名水はだの富士見の湯の運営に 市内事業者や地元農家が参入できる対策を



自民・新政 今井 実

### 一 名水はだの富士見の湯の運営について

指定管理者候補の選定は、最も重要であると考えているが、その候補者を選定する委員の構成はどのようか。

企業経営の健全性を判断できる者や公共施設の管理などの知識を有する者、また、地元自治会代表者などの5人で構成している。

指定管理者が売店や食堂も運営するようだが、本市の名産品の展示販売や地場産野菜の販売などの取り扱いはどのようか。

指定管理者の募集に伴う業務仕様書に、名産品や地場産野菜の展示販売を行うことを明記した。今後、指定管理者と締結する契約書にも、明記していきたい。

市内事業者の経営の安定は、地域活性化にもつながるため、本市の税収も増えらるため、今後、市内事業者の多くが参入できる機会を設けてほしい。



箱罫研修会



対策はどのようか。

箱罫研修会やハンター塾の開催、狩猟免許の更新および取得時に補助金の交付、講習免除規定の適用、西・上地区における駆除区域拡大などを行ってきた。今後も県、JA、猟友会などと駆除を進めていく。

捕獲後のために解体車を確保してジビエを活用してほしい。

現在の状況はどのようか。

現在、水無川右岸側にある大倉駐車場など3カ所で合計312台の駐車台数が確保されているが、駐車場の増設や未整備区間の整備について県に強く要望している。

矢坪沢沿いに新たなアクセス道路を整備することだが、進捗はどのようか。

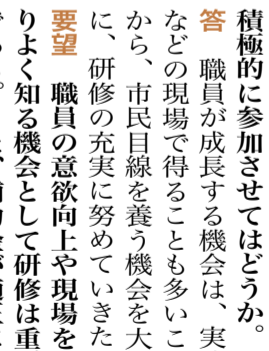
保安林などがあり、ハードルの高い法規制もあることから、具体的なルートなどについて、関係機関と調整を進めている。

新東名高速道路建設に伴い、上地区に工事用道路が整備されているが、地元から開通後も引き続き利用したいとの要望があるため、検討をしてほしい。

職員が成長する機会、実務などの現場で得ることも多いことから、市民目線を養う機会を大切に、研修の充実を努めていきたい。

職員の意欲向上や現場をよりよく知る機会として研修は重要である。また、補助金が適正に使用されているかのチェック機能の必要性からも、検討してほしい。

無電柱化の推進を



無電柱化の推進を

# 陳情・意見書

## 安心して医療を受けるため 重度障害者医療費助成制度の継続を

平28陳情第10号 重度障害者医療費助成制度継続についての陳情

▼願意 重度障害者医療費助成制度において、障がい児者・透析患者が継続して助成を受けられるようにしてほしい。

▼付託委員会 文教福祉常任委員会

▼委員会での審査状況 委員会としては、「重度障害者医療費助成制度は、障がい者が安心して医療を受ける上で大変重要な制度であるため、今後も継続すべきである。」との意見の一致を見た。

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

## 人材確保・離職防止のため 介護従事者の処遇改善を

平28陳情第11号 介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現を求める陳情

▼願意 介護従事者の人材確保・離職防止の具体的な対策および安全・安心な介護体制の確立を実現させるため、介護現場で働くすべての介護従事者の処遇改善を図り、介護施設の人員配置基準を利用者2人に対して介護職員1人以上に引き上げることなどについて、国に意見書を提出してほしい。

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

## 安全・安心な医療・介護を実現するため 医療提供体制の充実を

平28陳情第12号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員のために意見書提出を求める陳情

▼願意 安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師、医療技術者、介護職員を増員すること。また、夜勤交代制労働における労働環境を改善することなどについて、国に意見書を提出してほしい。

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

## 不採択となった陳情

平28陳情第9号 名古屋38番地の認可保育園建設計画地の見直しを求める陳情

▼願意 名古屋38番地周辺は、閑静な住宅街であるため別の場所に変更し開園するよう事業者と慎重に協議し、また、事業者と住民の意見が合意されるまで補正予算(保育園建設のための補助金)の執行を停止するよう、市に要請してほしい。

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

▼採決の結果 不採択(賛成少数)

# 議案審議

(議案審議は1面にも掲載)

## 事務上のミスに対する責任を表すため 市長および副市長の給与を減額

議案第86号 秦野市特別職職員の給与等に関する条例の一部を改正することについて

▼願意 市長および副市長の給与を減額して、下水道事業債の過大借入れ、土地取用手続きでの瑕疵など一連の事務上のミスに対する責任の一端を表すため、改正するもの。

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

問 一連の事務の不振、そして市政の信頼を損ねてしまった状況をどのように考えているのか。

答 公正で平等な行政執行をする上で、組織を構成する職員に適切な判断能力や実行する力があることは大前提であるが、それが無かったと言わざるを得ない。信頼回復のため、全庁を挙げて誠実に取り組んでいく。

問 市長と副市長の給与を3カ月間減額するが、算出した根拠と具体的な減額金額はどうか。

答 今回の減額割合と期間は、本市における過去の例や他市の状況を参考にし、市長と副市長で決定した。

問 市長と副市長の給与を3カ月間減額するが、算出した根拠と具体的な減額金額はどうか。

答 今回の減額割合と期間は、本市における過去の例や他市の状況を参考にし、市長と副市長で決定した。

問 市長と副市長の給与を3カ月間減額するが、算出した根拠と具体的な減額金額はどうか。

答 今回の減額割合と期間は、本市における過去の例や他市の状況を参考にし、市長と副市長で決定した。

問 市長と副市長の給与を3カ月間減額するが、算出した根拠と具体的な減額金額はどうか。

答 今回の減額割合と期間は、本市における過去の例や他市の状況を参考にし、市長と副市長で決定した。

問 市長と副市長の給与を3カ月間減額するが、算出した根拠と具体的な減額金額はどうか。

答 今回の減額割合と期間は、本市における過去の例や他市の状況を参考にし、市長と副市長で決定した。

問 市長と副市長の給与を3カ月間減額するが、算出した根拠と具体的な減額金額はどうか。

答 今回の減額割合と期間は、本市における過去の例や他市の状況を参考にし、市長と副市長で決定した。

問 市長と副市長の給与を3カ月間減額するが、算出した根拠と具体的な減額金額はどうか。

答 今回の減額割合と期間は、本市における過去の例や他市の状況を参考にし、市長と副市長で決定した。

問 市長と副市長の給与を3カ月間減額するが、算出した根拠と具体的な減額金額はどうか。

答 今回の減額割合と期間は、本市における過去の例や他市の状況を参考にし、市長と副市長で決定した。

問 市長と副市長の給与を3カ月間減額するが、算出した根拠と具体的な減額金額はどうか。

答 今回の減額割合と期間は、本市における過去の例や他市の状況を参考にし、市長と副市長で決定した。

問 市長と副市長の給与を3カ月間減額するが、算出した根拠と具体的な減額金額はどうか。

答 今回の減額割合と期間は、本市における過去の例や他市の状況を参考にし、市長と副市長で決定した。

問 市長と副市長の給与を3カ月間減額するが、算出した根拠と具体的な減額金額はどうか。

## 市道の維持補修に係る経費などの 補正予算を賛成全員で可決

議案第80号 平成28年度秦野市一般会計補正予算(第4号)を定めることについて

▼願意 歳入歳出それぞれ5億9440万9千円を追加し、繰越明許費の設定、債務負担行為の追加および地方債の変更をするもの。

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

問 公共下水道使用料の賦課漏れにおいて、近隣市では、関係職員が財政上の穴を補填する意味で寄付という形をとられた。本市はこの行動をどのように考えるか。

答 再発防止のため、全庁的、横断的な調査チームをつくる。併せて寄付の件についても議論する。

問 公共下水道使用料の賦課漏れにおいて、近隣市では、関係職員が財政上の穴を補填する意味で寄付という形をとられた。本市はこの行動をどのように考えるか。

答 再発防止のため、全庁的、横断的な調査チームをつくる。併せて寄付の件についても議論する。

問 公共下水道使用料の賦課漏れにおいて、近隣市では、関係職員が財政上の穴を補填する意味で寄付という形をとられた。本市はこの行動をどのように考えるか。

答 再発防止のため、全庁的、横断的な調査チームをつくる。併せて寄付の件についても議論する。

問 公共下水道使用料の賦課漏れにおいて、近隣市では、関係職員が財政上の穴を補填する意味で寄付という形をとられた。本市はこの行動をどのように考えるか。

答 再発防止のため、全庁的、横断的な調査チームをつくる。併せて寄付の件についても議論する。

問 公共下水道使用料の賦課漏れにおいて、近隣市では、関係職員が財政上の穴を補填する意味で寄付という形をとられた。本市はこの行動をどのように考えるか。

答 再発防止のため、全庁的、横断的な調査チームをつくる。併せて寄付の件についても議論する。

問 公共下水道使用料の賦課漏れにおいて、近隣市では、関係職員が財政上の穴を補填する意味で寄付という形をとられた。本市はこの行動をどのように考えるか。

答 再発防止のため、全庁的、横断的な調査チームをつくる。併せて寄付の件についても議論する。

問 公共下水道使用料の賦課漏れにおいて、近隣市では、関係職員が財政上の穴を補填する意味で寄付という形をとられた。本市はこの行動をどのように考えるか。

答 再発防止のため、全庁的、横断的な調査チームをつくる。併せて寄付の件についても議論する。

問 公共下水道使用料の賦課漏れにおいて、近隣市では、関係職員が財政上の穴を補填する意味で寄付という形をとられた。本市はこの行動をどのように考えるか。

答 再発防止のため、全庁的、横断的な調査チームをつくる。併せて寄付の件についても議論する。

問 公共下水道使用料の賦課漏れにおいて、近隣市では、関係職員が財政上の穴を補填する意味で寄付という形をとられた。本市はこの行動をどのように考えるか。

答 再発防止のため、全庁的、横断的な調査チームをつくる。併せて寄付の件についても議論する。

問 公共下水道使用料の賦課漏れにおいて、近隣市では、関係職員が財政上の穴を補填する意味で寄付という形をとられた。本市はこの行動をどのように考えるか。

答 再発防止のため、全庁的、横断的な調査チームをつくる。併せて寄付の件についても議論する。

問 公共下水道使用料の賦課漏れにおいて、近隣市では、関係職員が財政上の穴を補填する意味で寄付という形をとられた。本市はこの行動をどのように考えるか。

答 再発防止のため、全庁的、横断的な調査チームをつくる。併せて寄付の件についても議論する。

問 公共下水道使用料の賦課漏れにおいて、近隣市では、関係職員が財政上の穴を補填する意味で寄付という形をとられた。本市はこの行動をどのように考えるか。

## 医療費を中学3年生まで 全額助成する制度の整備を

議案第6号 小児医療費助成制度の拡充を求める意見書の提出について

▼願意 すべての子どもの医療費を窓口負担のない現物給付方式とし、中学3年生までの全額助成を国の制度として早急に整備するよう、国に意見書を提出するもの。

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

▼採決の結果 採決(賛成多数)

<12月定例会の審議結果一覧表>

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 (川口 薫議長は採決に加わりません)

Table with columns for bill numbers (e.g., 第71号, 第72号), titles, and voting results for various parties (自民党・新政クラブ, 民政会, 公明党, 緑水クラブ, 創薬クラブ, 日本共産党, 無所属).

災害時における議会の役割を学ぶため 議員研修会を開催しました

1月16日(月)に東日本大震災時に、岩手県大船渡市議会事務局長でいられた金野周明氏を講師に招き、当時の状況や議員活動の様子などを学ぶ、議員研修会を開催しました。



編集後記 (Editorial Afterword) section containing a vertical column of text and a small illustration of a snowman and children.

3月定例会日程

Table listing the agenda for the March regular session, including dates (e.g., 2月20日, 23日, 27日) and activities (e.g., 議会運営委員会, 本会議).

※会議の日程および時刻は変更することがあります。 ※議員への議案送付は、2月16日(木)の予定です。

※3月定例会で審査する請願・陳情の提出期限は2月14日(火)午後5時までです。